環境経営レポート

株式会社テクニカルエコサービス

レポート対象期間：2023年10月～2024年9月（14期）

発行日　2025年3月28日

目　　次

Ⅰ.　組織概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ.　環境経営方針　・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅲ　実施体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

Ⅳ.　今期(14期)の環境経営目標　・・・・・・・・・・・ 4

Ⅴ.　今期(14期)の環境経営計画　・・・・・・・・・・・・ 5

Ⅵ.　今期(14期)の環境経営目標の実績　・・・・・・・・・ 6 ,7

Ⅶ.　評価と次年度の取組内容・・・・・・・・・・・・・・ 8

Ⅷ.　次年度以降(15～17期)の中期的環境経営目標　・・・・・ 9

Ⅸ.　環境関連法規等の遵守状況及び、訴訟等の有無　・・・・・ 10

Ⅹ.　代表者による評価と見直し　・・・・・・・・・・・・ 11

Ⅺ.　エコアクション取り組みの様子　・・・・・・・・・・・ 12 ,13,14,15

Ⅰ. 組織概要

1.事業所名及び代表者

株式会社 テクニカルエコサービス
代表取締役　橋本　静華
環境管理責任者　吉田　浩一郎
エコアクション担当者　吉田　浩一郎
TEL:0538-33-2313　FAX:0538-38-9808

2.所在地

本社事業所　〒438-0045
静岡県磐田市上岡田1131番地5
資材置場　静岡県磐田市一言2636-5

3.創業　昭和63年3月

4.設立　平成22年11月

5.資本金　1,000万円

6.事業内容

建設業
土木一式
上下水道工事
管工事
下水道管渠メンテナンス
給排水衛生設備工事

製造業
ソーラー発電システム　設計・製造・販売

不動産業
宅地・建物取引業

7.許可内容

建設業
静岡県知事許可(般-2)第38221号　土木工事業、管工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業　他14種類の工事業
許可年月日:令和2年4月15日　許可の有効年月日:令和12年4月14日

産業廃棄物収集運搬
静岡県知事許可第02201186567号　許可年月日:令和2年12月24日　許可の有効年月日:令和7年12月23日
廃棄物の種類:廃プラスチック類(石綿含有廃棄物を含む)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず、がれき類、汚泥、紙くず、木くず、繊維くず
※自社運搬のみ

8.事業活動規模

活動規模	単位	12期	13期	14期
売上	百万円	400	400	400
従業員	人	18	19	19
事務所床面積	㎡	172.4	172.4	172.4
倉庫床面積	㎡	33.0	33.0	33.0
資機材置場面積	㎡	1650.0	1650.0	1650.0

9.車両保有台数

2024年9月30日現在

車輌種類	積載量	台数
軽バン		4
軽トラック		2
小型ダンプ	2.0t	1
小型ダンプ	3.0t	3
小型ダンプ	4.0t	1
乗用車		7
小型バン		1
油圧ショベル		4
ホイールローダー		1

10.認証・登録の対象範囲

当社の全事業活動及び全組織

Ⅱ. 環境経営方針

基本理念

㈱テクニカルエコサービスは、環境事業活動を通じて、全従業員が自然環境への影響を意識し、

継続的な環境の改善に努め、さらに地球環境を維持・向上・改善させる取り組みを建設的かつ積極的に推進します。

基本方針

具体的に次の事に取り組みます。

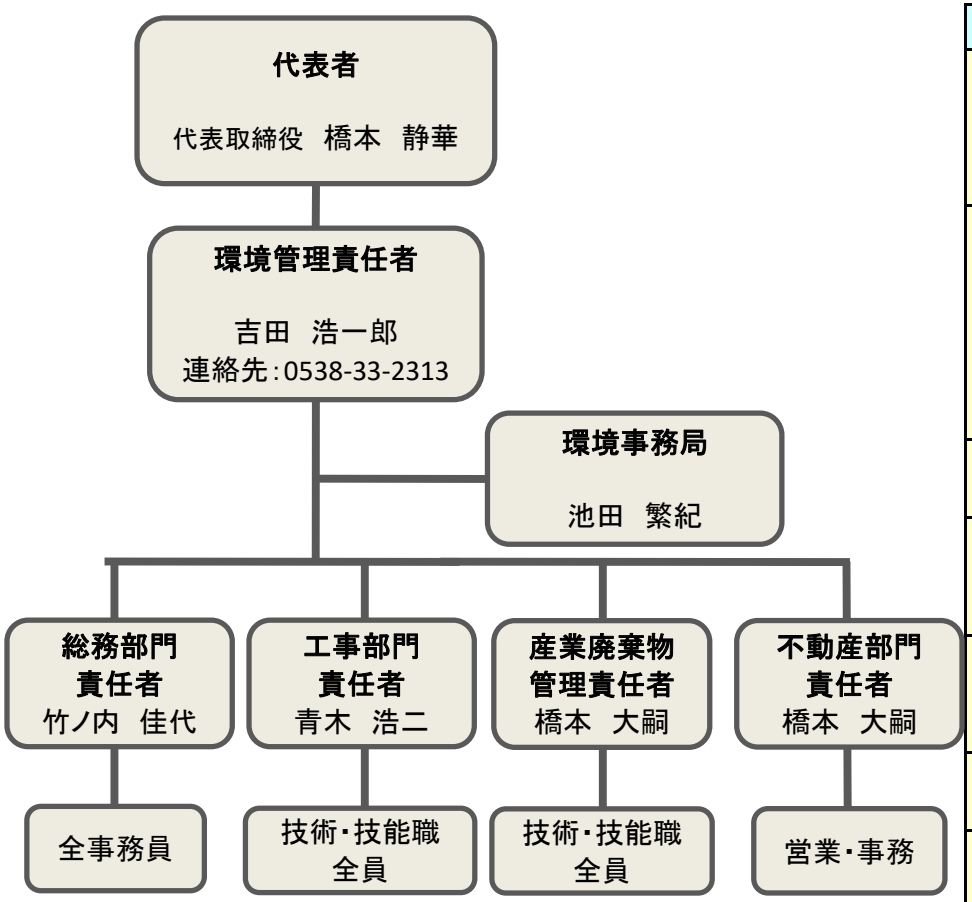
1. 省資源・省エネルギー活動を推進し、二酸化炭素排出量の削減に努める。
2. 事務所・現場等で発生する廃棄物排出量の削減、再資源化を促進する。
3. 節水を心がける。
4. 環境関連法規制等を遵守する。
5. 環境経営方針は全従業員に周知徹底し、環境保全への意識の向上に努める。
6. 化学物質は適正に管理する。
7. すべての業務において、環境に配慮した施工・サービスの提供をするよう努める。
8. 環境経営の継続的改善を推進します。

2015年9月30日　制定
2021年4月30日　改定

株式会社テクニカルエコサービス

橋本　静華

Ⅲ. 実施体制



担　当		責　任　及　び　権　限
代表者	橋本　静華	取組の実施及び管理に必要な資源の準備及び投入 環境方針の制定、見直し、及び全従業員への周知 代表者による全体の評価と見直しの実施 環境管理責任者の任命
環境管理責任者	吉田　浩一郎	環境経営システムの構築・運用 法規制等の取りまとめ、遵守状況のチェック 社内教育の実施 環境活動の取組結果の代表者への報告 エコアクション21における文書の作成・承認 外部からの環境に関するクレーム処理
環境事務局	池田　繁紀	情報収集と実施状況の把握 環境管理責任者のサポート
総務部門責任者	竹ノ内　佳代	会社全体の光熱費等の使用量の把握と記録 部門における活動の実施・環境管理責任者への報告 部門における問題点のチェックと是正・予防処置の実施
工事部門責任者	青木　浩二	現場の光熱費等の使用量の把握と記録 部門における活動の実施・環境管理責任者への報告 部門における問題点のチェックと是正・予防処置の実施
産業廃棄物管理責任者	橋本　大嗣	部門における活動の実施・環境管理責任者への報告 部門における問題点のチェックと是正・予防処置の実施
不動産部門責任者	橋本　大嗣 竹ノ内　佳代	部門における活動の実施・環境管理責任者への報告 部門における問題点のチェックと是正・予防処置の実施
全従業員		環境管理責任者と各部門責任者の指示のもと、 積極的に環境活動に取り組む

Ⅳ. 今期（14期）の環境経営目標

当社は、環境経営目標の設定方法として2年平均を基準値とする方式を採用しています。

環境経営目標		活動項目		単位	第12～13期の平均	14期　目標	
					2021.10～2023.9	2023.10～2024.9	
					（基準値）	削減率	目標値
1.二酸化炭素排出量の削減			二酸化炭素排出量	kg-CO_2	66,839	対基準値▲1%	66,171
	購入電力の削減	エアコン設置温度の見直し フィルターの定期的な清掃 休憩・不使用時の消灯 待機電力の削減 節電の表示	購入電力	kwh	9,230	対基準値▲1%	9,138
	ガソリン・軽油等使用量削減	アイドリングストップの実施 急発進・急加速の禁止 積載物の確認 タイヤ空気圧の確認 暖房器具の効率的な使用	ガソリン購入量	ℓ	10,783	対基準値▲0.2%	10,761
			ガソリン消費燃料	km/ℓ	8.39	対基準値をキープ	8.39
			軽油購入量	ℓ	14,571	対基準値▲0.2%	14,542
			軽油消費燃料	km/ℓ	3.85	対基準値をキープ	3.85
2.廃棄物排出量の削減		資源ごみの分別の徹底 コピー用紙の裏紙使用 ミスプリントの防止	一般廃棄物 （焼却）	kg	67.5	対基準値▲1%	66.8
			一般廃棄物 （再資源化）	kg	30.0	対基準値+0.1	30.1
		産業廃棄物のリサイクル率	産業廃棄物	%	99.4	対基準値をキープ	99.4
3.節水の徹底		節水の周智徹底 水漏れ点検の実施	水使用量	m3	104.0	対基準値▲0.2%	103.8
4.新規事業		新規雇用 技能実習生雇用	―	―	新規雇用 技能実習生雇用	―	新規雇用 技術者実習生の雇用
5.化学物質使用量の削減		使用量の把握	使用量の把握	kg	8.80	対基準値▲1%	8.71
6.環境に配慮した施工・サービス		情報収集、現状の把握、施工	施工取組	―	乾式舗装切断の実施	施工取組	乾式舗装切断の実施

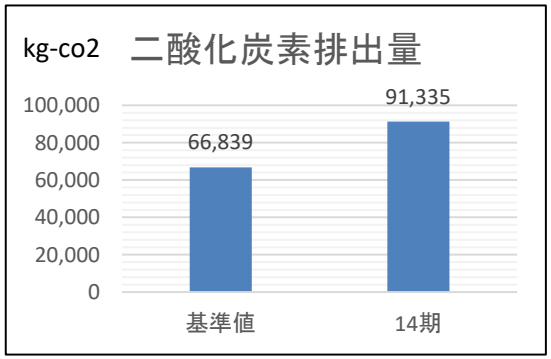
Ⅴ. 今期(14期)の環境経営計画

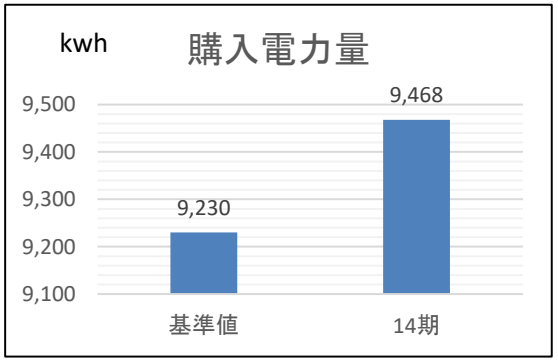
環境経営目標		取組内容	取組日程	担当部門
1. 二酸化炭素排出量の削減	購入電力の削減	空調温度管理の徹底(冷房28℃　暖房20℃)	6月～10月 12月～3月	環境管理
		エアコンフィルターの定期的な清掃	長期休暇前	
		休憩、不用時の消灯	通年	
		待機電力の削減(パソコン・プリンター)	通年	
		グリーンカーテン	6月～8月	
	ガソリン・軽油等 使用量削減	アイドリングストップの実施	通年	工事部門
		急発進・急加速の禁止	通年	
		積載物の確認	通年	
		タイヤ空気圧の確認	通年	
		暖房器具の効率的な使用(暖房20℃)	6月～10月 12月～3月	
2.廃棄物排出量の削減		資源ごみの分別の徹底	通年	総務部門
		コピー用紙の裏紙使用	通年	
		ミスプリントの防止(印刷プレビューの活用)	通年	
3.節水の徹底		節水の周知徹底(貼紙・会議で発信)	通年	総務部門
		水漏れ点検実施(使用量の確認とパッキンの交換)	通年	
4.新規事業		新規雇用、技能実習生雇用	通年	橋本代表
5.化学物質使用量の削減		接着剤の使用量の管理	通年	工事部門
6.環境に配慮した施工・サービス		情報収集、現状の把握、施工(リサイクル品の使用・乾式舗装切断)	通年	工事部門

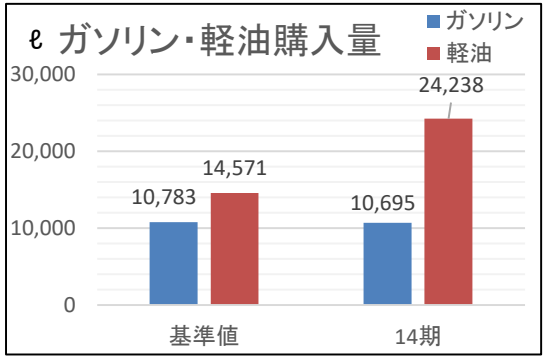
Ⅵ. 今期の環境経営目標の実績

環境経営目標		活動項目		単位	2021.10～2023.9 平均値	2023.10～2024.9			対象期間の評価
					（基準値）	削減率	目標値	実績値	
1.二酸化炭素排出量の削減		二酸化炭素排出量		kg-CO_2	66,839	対基準値▲1%	66,171	91,335	×
	購入電力の削減	エアコン設定温度の見直し フィルターの定期的な清掃 休憩・不用時の消灯 待機電力の削減 節電の表示	購入電力	kwh	9,230	対基準値▲1%	9,138	9,468	×
	ガソリン・軽油等使用量削減	アイドリングストップの実施 急発進・急加速の禁止 積載物の確認 タイヤ空気圧の確認 暖房器具の効率的な使用	ガソリン購入量	ℓ	10,783	対基準値▲0.2%	10,761	10,695	○
			ガソリン消費燃費	km/ℓ	8.39	対基準値をキープ	8.39	8.45	△
			軽油購入量	ℓ	14,571	対基準値▲0.2%	14,542	24,238	×
			軽油消費燃費	km/ℓ	3.85	対基準値をキープ	3.85	3.11	○

＜備考＞電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）は、2023年度（令和5年度）実績ー　R6.8.2公表の中部電力㈱の調整後の排出係数である0.421（kg-CO_2/kWh）を使用している。



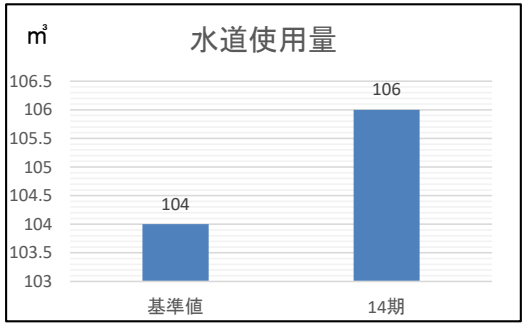




Ⅵ. 今期の環境経営目標の実績

環境経営目標	活動項目		単位	2021.10～2023.9 平均値	2023.10～2024.9			対象期間の評価
				（基準値）	削減率	目標値	実績値	
2.廃棄物排出量の削減	資源ごみの分別の徹底 コピー用紙の裏紙使用 ミスプリントの防止	一般廃棄物（焼却）	kg	67.5	対基準値▲1%	66.8	48.0	○
		一般廃棄物（再資源化）	kg	30.0	対基準値+0.1	30.1	31.0	○
	産業廃棄物のリサイクル率	産業廃棄物	%	99.4	対基準値をキープ	99.4	99.6	○
3.節水の徹底	節水の周知徹底 水漏れ点検の実施	水使用量	㎥	104.0	対基準値▲0.2%	103.8	106.0	×
4.新規事業	新規雇用 技能実習生雇用	—	—	新規雇用 技能実習生雇用	—	新規雇用 技能実習生雇用	新規雇用（1人） 技能実習生雇用（1人）	○
5.化学物質使用量の削減	使用量の把握	使用量の把握	kg	8.80	対基準値▲1%	8.71	11.50	×
6.環境に配慮した施工・サービス	情報収集、現状の把握、施工	施工取組	—	乾式舗装切断の実施	施工取組	施工取組	乾式舗装切断の実施（13件）	○

（備考）評価　○印：達成，　△印：ほぼ達成　、　×印：未達成



評価と今後の取り組み

【評価】
全体的に達成が多く、その点は評価できる内容となりました。しかし、大きく数字が変化した項目に「現場で使用した軽油購入量」があり、その結果に伴い「二酸化炭素排出量」も増加しています。この軽油が増加した要因として公共工事の現場において発生した事案が考えられます。（問題点是正/予防処置にて調査、処置案提議済み）軽油燃費は大きく変化していませんので、やはり公共工事(下水道)ウェルポイント工で発生した発電機使用量が主な要因と分析できます。現場施工中に最善の処置を考え対応できたことにより、3,060ℓの節約に繋げることができたのは評価できると思います。

【今後の取組】
・上記評価の中に出ました問題点の調査・処置案を出していますので、それを社内で周知徹底する。また、工事は受注状況により内容が変化しますので、その都度最善を考え実行することは会社全体で意識付ける。
・現場、事務所と分け隔てなく取り組めるごみの削減/電気/水道の使用量は引き続き継続して取り組んでいく。

Ⅶ. 評価と次年度の取組内容

環境経営目標		活動項目	担当部門	評価 結果	評価 内容	次年度の取組内容
1. 二酸化炭素排出量の削減	購入電力の削減	空調温度管理の徹底（冷房28℃　暖房20℃）	環境管理	○	徹底されている	継続実施
		エアコンフィルターの定期的な清掃		○	徹底されている	継続実施
		休憩、不用時の消灯		○	徹底されている	継続実施
		待機電力の削減		○	徹底されている	継続実施
		グリーンカーテン		○	6月～8月で実施された	継続実施
	ガソリン使用量の削減	アイドリングストップの実施	工事部門	○	徹底されている	継続実施
		急発進・急加速の禁止		○	徹底されている	継続実施
	軽油使用量の削減	積載物の確認		○	徹底されている	継続実施
		タイヤ空気圧の確認		○	徹底されている	継続実施
		暖房器具の効率的な使用		○	徹底されている	継続実施
2. 廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	資源ごみの分別の徹底	総務部門	○	徹底されている	継続実施
		コピー用紙の裏紙使用		○	徹底されている	継続実施
	産業廃棄物の削減	産業廃棄物のリサイクル率		○	数値は向上している	継続実施
3.節水の徹底		節水の周知徹底	総務部門	○	徹底されている	継続実施
		水漏れ点検実施		○	徹底されている	継続実施
4.新規事業		新規雇用	橋本代表	○	現在進行中（雇用1件）	新規雇用 技人国並びに 技術者実習生の雇用
		技人国並びに技能実習生雇用		○	現在進行中（雇用1件）	
5.化学物質使用量の削減		接着剤の使用料の管理	工事部門	△	直営複数班による施工が 増えたため	適正管理 数量の把握
6.環境に配慮した施工・サービス		情報収集・現状の把握・施工	工事部門	○	乾式舗装切断を実施した （13件）	継続実施

Ⅷ. 次年度以降（15～17期）の中期的環境経営目標

環境経営目標	項目	単位	基準値 （12～13期） 2021.10～2023.9	15期　目標 2024.10～2025.9	16期　目標 2025.10～2026.9	17期　目標 2026.10～2027.9
1.二酸化炭素排出量の削減	購入電力 （LED化/節電の推進 等）	kWh	9,230	9,138 （対基準値▲1%）	9,046 （対前年▲1%）	8,956 （対前年▲1%）
	ガソリン購入 （エコ運転・燃費向上）	ℓ	10,783	10,761 （対基準値▲0.2%）	10,740 （対前年▲0.2%）	10,718 （対前年▲0.2%）
	ガソリン消費燃費 （エコ運転・燃費向上）	km/ℓ	8.39	8.39 （基準値をキープ）	8.39 （基準値をキープ）	8.39 （基準値をキープ）
	軽油購入 （エコ運転・燃費向上）	ℓ	14,571	14,542 （対基準値▲0.2%）	14,513 （対前年▲0.2%）	14,484 （対前年▲0.2%）
	軽油消費燃費 （エコ運転・燃費向上）	km/ℓ	3.85	3.85 （基準値をキープ）	3.85 （前年をキープ）	3.85 （前年をキープ）
	二酸化炭素排出量	Kg-CO_2	66,839	66,171 （対基準値▲1%）	65,509 （対前年▲1%）	64,854 （対前年▲1%）
2.廃棄物排出量の削減	一般廃棄物 （分別の徹底 等）	kg	67.5	66.8 （対基準値▲1%）	66.2 （対前年▲1%）	65.5 （対前年▲1%）
	一般廃棄物 （再資源化）	kg	30.0	30.1 （対基準値+0.1）	30.2 （対前年+0.1）	30.3 （対前年+0.1）
	産業廃棄物リサイクル率	%	99.4	99.4 （前年をキープ）	99.4 （前年をキープ）	99.4 （前年をキープ）
3.節水の徹底	水使用量 （節水の徹底 等）	㎥	104.0	103.8 （対基準値▲0.2%）	103.6 （対前年▲0.2%）	103.4 （対前年▲0.2%）
4.新規事業	—	—	新規雇用 技能実習生雇用	新規雇用 技術者実習生雇用	新規雇用 技術者実習生雇用	新規雇用 技術者実習生雇用
5.化学物質使用量 適正管理及び数量の把握	適正管理と数量の把握	—	—	適正管理 数量の把握	適正管理 数量の把握	適正管理 数量の把握
6.環境に配慮した施工・サービス	現状の把握、施工		乾式舗装切断の実施	情報収集、現状の把握、施工		

Ⅸ. 環境関連法規等の遵守状況

評価日　2024.10.31　　評価者　吉田

法規・条例・規制　（年１回WEB確認）	適用される項目	当社の対応	遵守確認
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正な保管	基準に適合した措置	○
	産廃収集運搬及び処分業者との委託契約	契約（書）の締結・許可証の有効期限	○
	マニフェストの管理	期限内送付、産廃管理票交付等状況報告書	○
	マニフェストの保管	5年間保管	○
	廃棄物運搬時の車両の表示・許可証の携帯	左記項目の遵守	○
	産業廃棄物多量排出事業者の処理計画及び実施状況報告	6月30日までに許可権者に報告（前年度発生量が千ﾄﾝ超の時）	○
（法第2,3,12,14,16条）	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	有資格者：池田　繁紀	○
同上（静岡県条例）	産業廃棄物管理責任者の選任	左記項目の遵守（責任者　橋本大嗣） ※届出の必要なし	○
（第8,10条）	産廃処理委託先の現地確認	委託先の現地確認(1回/年)、記録の保管(5年間)	○
建設業法　（第3,7,8,15条）	登録、許可、技術者等	届出、更新	○
騒音規制法　（第14,15条）	特定建設作業の届出(開始7日前まで)	規制基準の遵守(苦情無き事)	取組期間 該当なし
振動規制法　（第14,15条）	特定建設作業の届出(開始7日前まで)	規制基準の遵守(苦情無き事)	取組期間 該当なし
資源有効利用促進法（第7,8条）	土砂・コンクリート塊・アスコン塊のリサイクル	左記リサイクルの推進	○
建設リサイクル法　（第5,6,9,10,16条）	資材廃棄物の再資源化	再資源化の推進	○
自動車リサイクル法（第5,8条）	廃車の適正処理	引取業者への引き渡し	取組期間 該当なし
道路交通法　（64条）	道路使用申請	書類の提出、工事看板	○
道路運送車両法　（第47,48,49条）	自動車の点検・整備	日常点検・定期点検の実施	○
フロン排出抑制法　（第16条）	簡易点検の実施	3ヶ月に1回実施	○

当社に該当する環境関連法規への違反はありませんでした。
過去3年間において、訴訟及び、関係機関からの指摘もありませんでした。

X　代表者による全体の評価と見直し・指示

作成　2025年3月28日

		項　目	確認	:（必要に応じて評価・コメント記載）
1・見直し関連情報	1	エコアクション21文書	☑	記録・文書として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☑	ほぼ到達しています。
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☑	継続して取り組みます。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☑	記録として記載しました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☑	特に問題はありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑	目標・計画に沿って取り組みました。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☑	継続して取り組み運用します。
	8	その他（　　）	□	

2・代表者による全体評価・見直し指示

全体的に目標に対し達成しているように見受けられるが、細部にわたり取り組む課題が有るように見受けられます。
購入電力、ガソリン購入量において、若干の増加が見られます。
購入電力については、スイッチのまめな操作、不必要な場所の節電を心がけることが必要だと考えます。
温暖化影響により高温、多湿が続き今夏の猛暑時の電力消費量増加を防ぐための方策を立案、指示徹底します。
ガソリン購入量においては微増の状況です。
現場間の移動、社員の複数人の乗車の移動を心がけ購入量の削減を指示します。
軽油購入量が大きく増えたことは大きな課題と考えます。
複数現場の掛け持ちによる現場間の移動距離の増加が考えられる。
使用機械の軽油購入量の増加が見られ、ムダ、ムラな機械の使用を防ぐ事が必要です。
ガソリン購入量の微増に対し軽油購入量が大幅に増加している原因を冷静に分析、対応していくこととします。
次年度以降の環境経営計画、環境経営目標を明確に把握し、それらを、実践し目標に対し達成するよう全員で努力します。

2025年3月28日
株式会社テクニカルエコサービス
代表取締役　　橋本　静華

		見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・(無)	
	2	環境経営目標	(有)・無	未達成になった要因を把握し、目標の立て直しを検討する。
	3	環境経営計画	有・(無)	
	4	環境に関する組織（実施体制含め）	有・(無)	
	5	その他のシステム要素	有・(無)	
	6	その他（外部への対応）	有・(無)	

Ⅺ. エコアクション取組の様子

【1階事務所】
南側へグリーンカーテンを設置

【現場事務所】
ウォーターサーバー設置
災害時にも利用予定
※日常使いはマイボトルにて使用し、紙コップは緊急時用

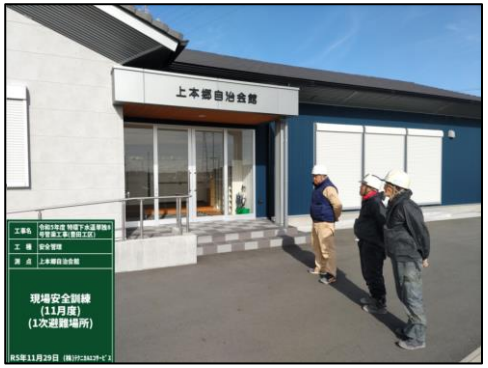
令和5年度　向笠竹之内新出幹線水道配水管更新工事　乾式カッター使用の様子

環境に配慮した施工の一環で乾式の舗装切断を行いました。

切断時に汚泥が出ない為、田畑に汚水が流入してしまう事を防ぐことができます。

Ⅺ. 地域貢献及び訓練(1)

① 令和5年度　公共工事安全(避難)訓練

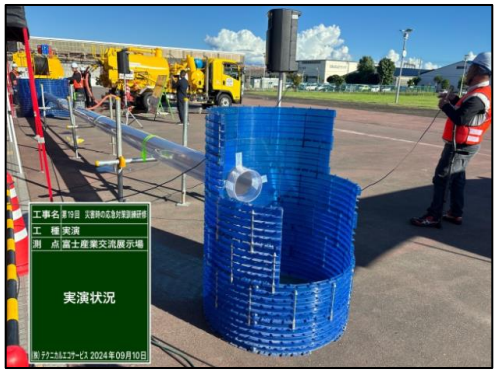


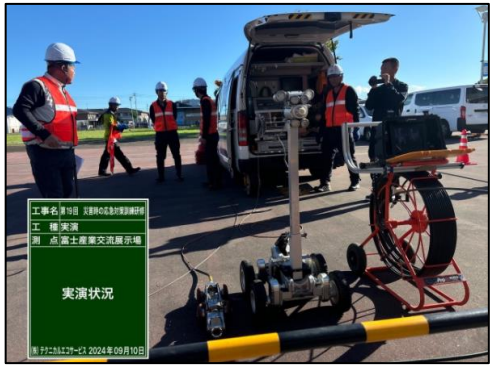
② 令和6年度　上本郷側溝清掃(地域貢

③令和6年度　磐田市建設部道路河川課地震防災訓練

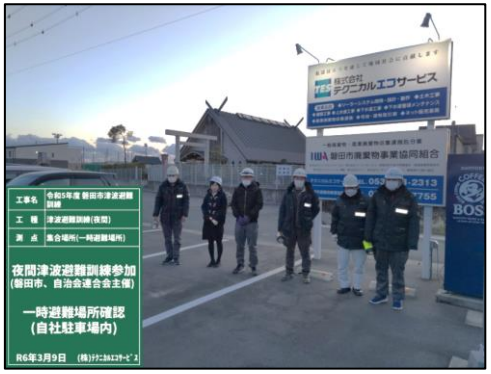
Ⅺ. 地域貢献及び訓練(2)

④ 令和6年度　災害時の応急対策訓練研修





⑤ 令和5年度　磐田市夜間津波避難訓練



⑥ 令和5年度　AED演習

Ⅺ. 地域貢献及び訓練(3)

⑦ 令和5年度　喫煙所発火対策

⑧ 令和5年度　重機油の漏洩対策

⑨ 令和6年度　公共工事安全訓練(南海トラフ地震)